

附属小研究発表会 ここがポイント！

～「粘り強くとともに学ぶ子どもの姿」について
本時の授業をもとに語り合しましょう！～

POINT

「各教科等の特質に応じた見方・考え方」を働かせ、
「深い学び」が生まれる授業を提案します！

- 子どもたちに粘り強さを育む単元開発によるこれから求められる授業を提案します。
- 各教科等の見方・考え方を働かせ、対話を通して課題を解決していく子どもたちの姿をご覧ください。

期 日 令和2年2月7日（金）・2月8日（土）

【2月7日】

12:40	13:25	14:10	14:25	15:10	15:25	17:00
受付	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ	移動	教科等分科会	

【2月8日】

8:15	9:00	9:45	10:00	10:45	11:00	12:25	13:30	15:50
受付	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ	移動	教科等分科会	昼食	全体会	閉会

会 場 熊本大学教育学部附属小学校

内 容 各教科等の授業公開・分科会

講演「見方・考え方を働かせながら 粘り強く学ぶ姿を生み出す授業づくり」

講 師

京都大学大学院教育学研究科 准教授 石井 英真 先生

京都大学大学院教育学研究科准教授 博士（教育学）
神戸松蔭女子学院大学人間科学部准教授などを経て現職。

著書『中教審「答申」を読み解く』（日本標準）

『今求められる学力と学びとは』

— コンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影 —（日本標準）

『小学校発 アクティブ・ラーニングを超える授業』

— 質の高い学びのヴィジョン「教科する」授業 —（日本標準）

『授業改善8つのアクション』（東洋館出版社）など



附属小学校の実践が本になりました！



「粘り強くとともに学ぶ子どもを育てる」

— 教材と深く対話する「教科する」授業の理論と実践 —

- 京都大学の石井英真先生がこれから求められる授業について解説
- 石井先生の全面監修のもと主体的・対話的で深い学びを具現化した実践の数々
- 全教科等・全授業の実践に「見方・考え方」を働かせる子どもの姿を明記

研究発表会会場にて販売！（売り切れ次第終了となります）

研究発表会の申し込み締め切りは**1月31日（金）**です。

ホームページ <https://elem.educ.kumamoto-u.ac.jp/>

熊大附属小

検索

WEB
申し込みが
オススメ！



©2010熊本県くまモン

熊本大学教育学部附属小学校 研究だより VOL.54

発行日 令和2年1月6日

編集・発行 熊本大学教育学部附属小学校 〒860-0081 熊本市中央区京町本丁 5-12 TEL 096 (356) 2492 FAX 096 (356) 2499

令和元年度 熊本大学教育学部附属小学校

附属小 研究だより

2020.1
VOL.
54

平成30～令和元年度 文部科学省委託

「教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学び
の視点からの学習・指導方法の改善の推進」研究校



粘り強くとともに学ぶ子どもの育成（2年次）

～「各教科等の特質に応じた見方・考え方」を働かせる授業の実現をめざして～

詳しくは裏面をご覧ください

研究発表会締め切り間近！！

ご挨拶

皆様におかれましては、学習指導要領の全面实施に向けた準備に余念がないことと推察いたします。年が明け、いよいよ本校の研究発表会の日が近づいてまいりました。

本校は、昨年度より2年間、文部科学省より主体的・対話的で深い学びの推進事業の委託を受け、研究を進めています。昨年度（1年次）の研究発表会では、研究主題「粘り強くとともに学ぶ子どもの育成」のもと、各教科等の本質に迫る主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を、子どもの姿を通して提案いたしました。本年度は2年次の取り組みであり、まとめの年度となります。各教科等の「見方・考え方」を働かせる姿を具体化するとともに、資質・能力に関する評価についても提案していきたいと考えています。ぜひご覧ください。

本校の令和最初の研究発表会は、多くの方々に参加していただけるよう2日間の開催としました。1日でも半日でも本校にお越しいただき、忌憚のないご意見やご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。それでは、当日皆様にお目にかかれるのを楽しみにしています。

熊本大学教育学部附属小学校 校長 井福 裕俊

(1日目)

公開授業Ⅰ

13:25～14:10

理科 第3学年

「ふしぎ発見！ 音の性質」

音のふしぎに迫る子どもの姿をご覧ください



外国語活動 第3学年

“What’s this?” Original Quiz Game

「これ、なんだ？」思があるからこそ言語活動



(1日目)

公開授業Ⅱ

14:25～15:10

社会科 第5学年

「国土の自然とともに生きる」

「これから」の提案から、自分事の追究へ



算数科 第6学年

「プログラミングで図形を描こう」

プログラミングを使った算数の授業をご紹介します！



体育科 第2学年

「ハンター鬼ごっこ」～鬼あそび～

「もっと！」の思いから「よりよい動き」へ



道徳科 第2学年

「人の心にもある美しさ（単元型学習）」

子ども自ら問いを追求する単元型学習



国語科 第3学年

「モチモチの木」

言葉の力を付けることのできる言語活動型の授業



体育科 第6学年

「ダイナミックボックス&マット」～器械運動～

跳び箱運動のおもしろさをマット運動に生かしていきます



(2日目)

公開授業Ⅰ

9:00～9:45

国語科 第1学年

「たぬきの糸車」

言語活動を核にして、具体的な行動に迫る



体育科 第4学年

「フルアタックゲーム」～ネット型ゲーム～

動きに対する見方が変わる授業を提案します



(2日目)

公開授業Ⅱ

10:00～10:45

算数科 第4学年

「箱の形を捉えよう」

見方・考え方を働かせながら箱の形を捉える



粘り強くともに学ぶ子どもを
育む授業の実現を目指して

研究部長 中尾 聡志



社会科 第3学年

「変わるわたしたちのくらし」

自分事として社会と関わる授業の提案



家庭科 第6学年

「身近なものでエコ掃除」

掃除のコツ、何となくから納得に！



国語科 第6学年

「海の命」

“わたしの問い”で「物語の全体像」に迫る



理科 第5学年

「探れ！流れる水のはたらき」

自然災害と関連付けた深い学びを提案します



させたい資質・能力だと考えます。そのような「粘り強さ」を育むために必要なものが、本校の研究を進める上で見えただけです。

そもそも論になるかもしれませんが、「粘り強さ」を育むことは「粘り強く学ぶ」中でしか実現しません。そのためには、子どもが心の底から学びたいという思いを生み出すことのできる単元や教材の開発が必要になります。単元導入でどうしても解決できない壁に子どもを直面させたり、子どもが素朴概念だけではうまく説明できない事象に出合わせたり、学ぶ価値を子ども自身が自覚できる学習活動と出合わせたりするなどの単元構成や教材開発が必要となるのです。

また、「粘り強さ」を育むには、教科等の本質的な学びの面白さを実感できる学びが必要です。本質につながる、表層的な学びの中でいくつ子どもたちの対話を生み出すようにしても、「粘り強さ」を身に付けることのできる対話的な学びは実現しません。教科等の本質につながる学びの中で、価値ある教材と深く対話させていくことのできる学びこそ、「粘り強さ」を身に付ける学びとなるのです。

その際、重要となるものが、本年度研究のサブテーマに設定している「各教科等の特質に応じた見方・考え方」です。この「見方・考え方」とは「教科内容の眼鏡」と言えるものです。「見方・考え方」を働かせて目の前の事象を見るからこそ、教科等の本質的な内容が見えるようになるのです。

算数科 第5学年

「割合を使って問題を解決しよう」

数学的活動を通して割合の概念を獲得する授業



外国語 第6学年

「紹介しよう！わたしの小学校の思い出」

過去を表す表現を使って思い出ムービーを作る



そこで、本年度の2月7日8日両日に実施する23本の公開授業では、それぞれの指導案の中で「見方・考え方」を具現化しております。参会された先生方にも是非ご覧いただき、忌憚のないご意見を聞かせていただきたいと考えております。

もう一点、「粘り強くともに学ぶ子どもの育成」を目指す上で必要となるものが「評価」です。学習の記録を自分の言葉でまとめさせることで、「粘り強く学んだ自己の学びをメタ的に捉え直したり、単元を通して身に付けた思考力・判断力・表現力等を発揮することのできるメタ・メタンス課題を設定したりする中で、子どもたちが身に付けた「粘り強さ」を見取っていきます。さらに言うならば「評価」は単元末や授業末にだけするものではありません。授業の中においても立ち止まりや問い返しによって、今の自分の学びを自覚できるようにしていきます。

私たち熊本大学教育学部附属小学校は、2月7日8日両日の研究発表会に向けて、この1年間研究を深めてきました。必ずご参画いただいた先生方に深い学びが生み出せるような授業を公開致します。私たちが提案する授業の中では、子どもたちは生き生きと輝き、粘り強くともに学ぶことができます。心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。

図画工作科 第1学年

「つくりだそう！たくさんのカップで」

遊びを通して、深い学びへ誘う題材を提案します



保健・健康教育 第5学年

「けがの防止」

「けがZERO！プロジェクト」で行動変容へ



(1日目)

公開授業Ⅱ

14:25～15:10

国語科 第3学年

「モチモチの木」

言葉の力を付けることのできる言語活動型の授業



体育科 第6学年

「ダイナミックボックス&マット」～器械運動～

跳び箱運動のおもしろさをマット運動に生かしていきます



(2日目)

公開授業Ⅱ

10:00～10:45

算数科 第4学年

「箱の形を捉えよう」

見方・考え方を働かせながら箱の形を捉える



国語科 第6学年

「海の命」

“わたしの問い”で「物語の全体像」に迫る



理科 第5学年

「探れ！流れる水のはたらき」

自然災害と関連付けた深い学びを提案します



社会科 第4学年

「わたしたちの熊本『ごみ』」

今、自分にできる社会参画とは…？



生活科 第2学年

「さがそう！ぼくたちわたしたちのくまもととしてんのひみつ」

見方・考え方を生かし、気付きの質を高める授業



算数科 第1学年

「ずをつかってかんがえよう」

思考を要する問題場面で数学的に探究する子ども



音楽科 第6学年

「伝えよう！私たちの思い」

思いを生かした表現の工夫をお見せします

